

第2部 6:00 ~ 8:30

司会 神田 エミイ 亜希子 (49期)

懇親パーティー

演奏

開会挨拶

祈 禱

乾 杯

飲 談

ミニコンサート

フルート 大場 なつき (57期)  
バッハ無伴奏チェロ組曲  
情熱大陸 アメージンググレイス

J A Z Z

トランペット 管田 恭介 (55期)  
ピ ア ノ 中村 泰輔 (55期)  
あら野のはてに 他オリジナル曲

飲 談

カレッジソング

同窓会副会長 鈴木 孝至 (24期)

開会挨拶

同窓会会長 前田 美智子 (14期)

演奏者紹介

J A Z Z

トランペット 管田 恭介 (55期) 青山学院大学経営学部在学中  
ピ ア ノ 中村 泰輔 (55期) 青山学院大学経営学部在学中  
日本テレビ番組「青い文学」エンディングテーマ作曲

フルート 大場 なつき (57期) 東京音楽大学器楽科フルート専攻1年  
フルートを村松智美 飯島和久 相澤政宏に師事  
第5回仙台フルートコンクール第1位 等

ピ ア ノ 小林 祥恵 (57期) 青山学院大学総合文化政策学部在学中  
第1回京浜楽器ピアノコンクール一般部門審査員特別賞



# 第7回 青山学院高等部 同窓会



## 未来へのバトン

2009.11.28 sat

第1部 PS講堂最後のクリスマス礼拝・開会式  
PS講堂ファイナル 思い出コンサート  
PS講堂にて 3:30~5:30 受付3:00

第2部 懇親パーティー  
青学会館にて 6:00~8:30 受付5:30



大塚 正 画



青山学院高等部同窓会

第1部 3:30~5:30

司会 鶴飼 道子 (26期)

礼 拝

司 式 大島 力 (20期) (大学宗教部長)  
お 話 嶋田 順好 (学院宗教部長)  
奏 楽 井上 圭子 (25期)

前 奏  
讃美歌 94番  
聖 書  
お 祈り  
お 話 「光は暗闇の中で輝いている」  
讃美歌 98番  
祝 祷  
後 奏

大島 力  
嶋田 順好  
嶋田 順好

開 会 式

開会宣言  
挨拶  
祝 辞  
祝 辞

実行委員長 吉田 晃 (24期)  
同窓会会長 前田 美智子 (14期)  
学院理事長 松澤 建 (4期)  
高等部長 大村 修文 (11期)

上 映 「北校舎・PS講堂の記録」 高等部制作

休 息 15分

コンサート PS講堂ファイナル 思い出コンサート



ベギー 葉山  
秋満 義孝カルテット

プロフィール

ベギー 葉山

1952年 青山学院女子高等部卒業 ヒット曲は「南国土佐を  
後にして」「学生時代」「つめ」「ドレミの歌」「ラ・ノビア」  
など多数 現在歌手活動のほかミュージカルに出演、講演  
テレビ、ステージ等に活躍中

オルガン奏者 井上 圭子 (25期)

東京藝術大学大学院卒  
フライブルク音楽大学卒  
国内外の各地でソロまたは  
オーケストラと演奏活動を展開

聖 句 光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。  
ヨハネによる福音書 1章5節

讃美歌 94番

- |                                  |                                   |  |                                   |
|----------------------------------|-----------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1 久しく待ちにし<br>み民のなわめを<br>主よ主よ、み民を | 主よ、とく来りて、<br>解き放ちたまえ。<br>救わせたまえや。 | 3 ダビデの <sup>つと</sup> 奮なる<br>平和の花咲く<br>主よ主よ、み民を | 主よ、とく来りて、<br>国をたてたまえ。<br>救わせたまえや。 |
| 2 あしたの星なる<br>お暗きこの世に<br>主よ主よ、み民を | 主よ、とく来りて、<br>み光をたまえ。<br>救わせたまえや。  | 4 ちからの君なる<br>輝くみくらに<br>主よ主よ、み民を                | 主よ、とく来りて、<br>とわに即き給え。<br>救わせたまえや。 |

讃美歌 98番

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 1 「あめにはさかえ<br>つらにはやすき<br>みつかいたちの<br>ききてもろびと<br>今ぞうまれし | み神にあれや、<br>人にあれや」と、<br>たたうる歌を<br>共によるこび、<br>君をたたえよ。 | 2 きだめたまいし<br>かみのみくらを<br>みたまによりて<br>世びとのなかに<br>いまぞ生まれし | 救いのおきに、<br>はなれて降り、<br>處女にやどり、<br>住むべき為、<br>君をたたえよ。 |
| 3 あき日のごとく<br>みひかりをもて<br>つちよりいでし<br>つきぬいのちを<br>いまぞ生まれし | かがやき昇り、<br>暗きを照らし、<br>人を活かしめ、<br>与うるために、<br>君をたたえよ。 |   |  |

「学生時代」 作詞/作曲 平岡精二

1 つたの絡まるチャペルで 祈りを捧げた日  
夢多かりしあの頃の 思い出をたどれば  
懐しい友の顔が 一人一人うかぶ  
重いカバンを抱えて 通ったあの道  
秋の日の図書館の ノートとインクの匂い  
枯葉の散る窓辺 学生時代

2 讃美歌を歌いながら 清い死を夢みた  
何の よそおいてもせずに 口数も少なく  
胸の中に秘めていた 恋への憧れは  
いつもはかなく破れて 一人書いた日記  
本棚に目をやれば あの頃読んだ小説  
過ぎし日よ わたしの学生時代

3 ロウソクの灯に輝く 十字架を見つめて  
白い指をくみながら うつむいていた友  
その美しい横顔 姉のように慕い  
いつまでもかわらぬと願った幸せ  
テニスコート キャンプファイヤー  
懐しい日々は帰らず  
すばらしいあの頃 学生時代  
すばらしいあの頃 学生時代

